



夏季日本語研修プログラム 修了式の様子 (8月24日)

チャットルーム 2017 ～ネイティブ・スピーカーと話ませんか？

国際交流センターでは、興味のある外国語を実際にアウトプットすることを目的として、2015年度より「チャットルーム」を開催しています。



英語や中国語、韓国語など、少人数のグループに分かれてトピックに沿ったテーマトークをすることで、留学生を交えて、または日本人同士で「外国語で話す」ことの楽しさを実感するためのイベントです。日常生活の中で、外国語を使う機会はなかなかなく、物足りない思いをしている方、このイベントでは、お互いの恥じらいを捨てて、「外国語で伝える難しさ、伝わる喜び」など、味わいませんか？

毎月1回程度定期的に開催しますので、奮ってご参加ください（長期休業期間・試験期間を除く）。

- ☆日頃の勉強の成果をアウトプットしましょう。
- ☆少人数のグループに分かれて行きます。会話のチャンスはたっぷり！（会話のきっかけとなるトピックは用意します）
- ☆語学力は問いません。参加自由・予約不要。
- ☆飲食は自由、ランチタイムも有効に使えます。
- ☆国際交流センター（中央教育研究棟2階）内で実施。各回のテーマ、詳細はG-PortやFacebookでお知らせします。

2017年度の開催日（開催時間は原則、12:20～14:30）
6月16日（金）・7月4日（火）・9月28日（木）・10月19日（木）
（留学フェア内）・11月21日（火）・12月11日（月）

〈夏季〉短期ホームステイプログラム ※学習院国際交流基金助成事業

長期休業期間中、本学留学生に対して、日本人学生の家庭に1泊～7泊のホームステイ体験を提供するプログラムを実施しています。今回は、のべ12組の留学生及び日本人家庭が本プログラムに参加しました。ホストファミリーと参加学生へのインタビューの一部をご紹介します。ホストファミリーは「国際交流センターボランティア」の活動の一つとして協力を募っています。

次回は、冬・春季休業期間中に実施予定です。興味を持っていただいた方、次回募集をお待ちください！ホームページや掲示板でお知らせします。



感想は2面へ➡

夏季語学研修報告 (イギリス・国内・エストニア・韓国)

今年度の夏季休業期間は一覧表のとおり、2016年度に新規に大学間協定を締結した北欧・エストニアのタルトゥ大学を含む4研修施設で語学研修をそれぞれ実施し、のべ65名の学生が参加しました。本号では、ヨーク大学での夏季語学研修の様子を紹介します！

	研修先	参加者	研修期間	滞在方法	主な研修内容
英語	ヨーク大学（イギリス）	16名	8月4日～8月26日	ホームステイ	Oral Communicationに特化した英語レッスン、ホームステイで異文化交流、現地学生メンターとの交流等
	プリティッシュヒルズ（福島県） 【尚友倶楽部助成金事業】	27名	8月9日～8月11日	研修施設内宿舎	英国文化を再現した施設でのネイティブ講師による英語レッスン、異文化体験プログラムへの参加等
	タルトゥ大学（エストニア）	9名	8月20日～9月10日	ホームステイ	英語研修、北欧文化の体験、2都市でのホームステイによる異文化交流等
韓国語	東国大学校（韓国）	13名	8月6日～8月19日	学生寮	語学能力別韓国語授業、近郊旅行や放送局見学、キムチ作りなどの文化体験、パディとの交流等

○学生レポート

・ヨーク大学研修（イギリス）

日本には学べないこと、経験できないことをしてこようと思っただけで参加しました。たった3週間の留学で、英語やイギリスの文化・歴史の知識を学ぶだけでなく、自分の内面的な部分も成長させることが出来たと感じています。現地の人々はとても優しく、拙い英語でも伝えようと努力すれば根気強く理解しようとしてくれるので、英語に自信がない方でも、オースメのプログラムです！

（経営学科3年 田寛 遥さん）

・プリティッシュヒルズ研修（福島県）

元々、イギリス文化に興味があり、短期かつ国内で手軽に英語漬けの環境に身を置くことから参加を決めました。山腹の霧に包まれたイギリス様式の建物の中で、友人と共に、ネイティブの生の英語と触れ合うことができました。日常会話から、より高度なディベートまで様々な英語を聞き、話すことができた濃密な3日間でした。

（物理学科3年 田邊 弘行さん）

・東国大学校研修（韓国）

今年の夏は何をしようかと考えていた時に目に留まったプログラムが東国大学校への韓国語研修でした。現地大学で、自分のレベルに合った授業を受けられる制度に惹かれました。パディとの交流は特別楽しい時間となり、研修が終わった今も、そして今後も交友関係は続いていくと思います。2週間という短い期間でしたが、旅行とは一味違う貴重な経験が出来ました。

（フランス語圏文化学科4年 齋藤 由佳里さん）

・タルトゥ大学研修（エストニア）

今回の研修に参加した動機は、高校生の頃から留学に行きたかったから。そんな漠然とした理由だけだった。渡航前は聞いたことのない国だし、初めての海外だし、心配事ばかりだった。しかし、行ってみたら心配事なんて考える時間が無いくらい充実していた。現地で友達もできた、英語力もかなり向上した。僕はエストニアに引き寄せられて留学を決意したのかもかもしれない。

（政治学科2年 金子 歩夢さん）

ホストファミリーをしてくれた日本人学生から ～短期ホームステイプログラム～

Q. ホームステイ期間中、一番楽しかったことは？

- ・中国人留学生を迎えましたが、多くの日本人がイメージしている（日本での）中国文化と実際の中国文化は、思った以上に違うことに驚きました。
- ・日本と外国の文化の違いなどを日本にしながら体験でき、とてもお得だと思いました。

Q. 興味がある学生へメッセージをいただけますか？

- ・留学生が日本について興味を持ち、知りたいと思ってきていることが一番嬉しかったです。これからもずっと連絡を取り合おうと思います。
- ・機会があれば、ぜひホームステイプログラムに参加してください。ホストファミリーは本当に大切な体験です。たくさんの楽しみ、驚き、感動があって、素晴らしい思い出になります！

ホームステイをした留学生から ～短期ホームステイプログラム～

Q. ホームステイ期間中、一番楽しかったことは？

- ・日本人家庭の普通の生活を体験すること、たくさん日本人と異文化交流すること、日本人の友達ができることなどはすごく楽しかったことです。

Q. ホームステイで印象に残ったことは何ですか？

- ・日本人のお母さんが朝一番早く起きて、夜一番遅く寝て、毎日頑張って家庭の面倒を見ることは一番印象に残っています。
- ・ホームステイを通して、日本人と日本のことをより理解できるようになりました。日本で生活し、学ぶことの楽しさがもっとわかるようになったと思います。

夏季日本語研修プログラム（8月18日～24日）※学習院国際交流基金助成事業

アジア・オセアニア圏の協定校からの留学生を受け入れて、今年で5年目の本プログラムは、豊島区の共催も得て、日本語日本文学科の野村教授と本学卒業の日本語講師が日本語教育を専門とする大学院生が中心となり、さまざまな文化学習プログラムを提供するものです。実施にあたり、多数の日本人学生ボランティアの協力も大きな力になり、学習面、生活面のサポートをしてくれました。

プログラムは講義のほかに、目白庭園での茶道・着付け体験や、川柳作り、グループ単位での都内フィールドトリップとその発表会など、参加者が楽しみながら日本文化や日本語を学べる内容が盛りだくさんでした。

最終日、修了証を受け取り、日本語で堂々とスピーチする留学生たちの表情は、達成感と自信に満ちており、講師やボランティア学生との別れを惜しみつつ、再会を誓い合っていました。



○本研修に参加した留学生の所属大学（いずれも本学協定校）

- 中 国：北京外国語大学
- 台 湾：東呉大学・淡江大学・国立中山大学
- 韓 国：東国大学校・高麗大学校
- タ イ：アサンブション大学

○参加した日本人ボランティアの感想（2名）

・日本語を一生懸命勉強していた留学生たちが非常に頼もしく感じました。中には私たちの知らない日本の知識を持った留学生もいて驚きました。今回の経験を踏まえ、来年も参加したいと思えました。
(国際社会科学科1年 星 拓磨さん)

・昨年度に続き2回目の参加でした。クラス活動だけでなく、放課後や休日に留学生とご飯に行ったり遊びに行ったりした思い出もたくさんあります。研修後も、留学生や日本人ボランティアと連絡を取り合ったり、SNSでお互い誕生日を祝い合ったりと、研修は短期間でも長く続く友達が学内外にできる貴重な機会だと思います。
(日本語日本文学科2年 関根 千紘さん)

留学生のためのイベント（平成29年度1学期）

■4月4日 新入学留学生の歓迎会

今年4月に入学した留学生を歓迎し、新入学留学生（私費）および4月受入協定留学生対象オリエンテーションの当日、歓迎会を開催しました。



■5月28日 留学生春のバス旅行

今年は都内近郊の留学生バス旅行を実施しました。40名の留学生たちは、浅草の仲見世を散策し、歌舞伎座ギャラリー、迎賓館の見学をしました。午前、下町情緒あふれる「江戸風鈴」の工房を見学し、留学生たちも風鈴の絵付けを体験しオリジナルの風鈴を制作しました。それぞれが日本文化への理解を深める貴重な機会となりました。



◆6月24日 留学生歌舞伎鑑賞教室【霞会館教育助成金事業】

留学生が日本の伝統文化芸能に触れる機会として、歌舞伎鑑賞教室を実施しました。今年の演目は、「歌舞伎十八番の内 毛抜」でした。



■7月28日 協定留学生のフェアウェルパーティ

今年の1学期で留学を終了した協定留学生13名の送別のためのフェアウェルパーティを実施しました。留学生だけではなく、彼らの留学生生活をサポートしてくれたパティメンバーや日ごろ交流のある日本人学生、派遣予定学生等が集い、国際交流センター所長からの修了証を受け取って一人ずつ挨拶をしてくれたり、写真を取り合ったりと、賑やかなひと時となりました。



海外協定校と協定留学プログラムによる留学生・派遣学生

最新の協定校一覧は、センターホームページでご確認いただけます。

■海外協定校からの留学生をご紹介します！

(留学期間：平成29(2017)年9月～)

氏名 (パスポート表記)	カナ (氏名)	在籍校	受入期間 (終)	受入学科・ 専攻
劉 媛	リュウ エン	北京大学 (中国)	1年間	人文科学研究科 史学専攻
歐陽 晴	オウヨウ セイ	香港中文大学 (中国・香港)	1年間	日本語日本文学科
李 民軒	リー ミンケン	香港中文大学 (中国・香港)	1年間	物理学科
劉 克薇	リュウ ケウエイ	東呉大学 (台湾)	1学期間	国際社会科学科
林 書嫻	リン シュウイエン	国立中山大学 (台湾)	1学期間	物理学科
沈 林立	チン リンリツ	国立中山大学 (台湾)	1学期間	史学科
ARROW, LUKE CHARLES	アロー ルーク チャールズ	オックスフォード・ ブルックス大学 (イギリス)	1年間	日本語日本文学科
MCLAREN, ALASDAIR JAMES	マクラレン アラス ディア ジェームズ	オックスフォード・ ブルックス大学 (イギリス)	1年間	日本語日本文学科
FEKIH HASSEN, OMEIMA	フェキ ハッセン ウメイマ	パリ第七大学 (フランス)	1年間	日本語日本文学科
BLONDY- DUPRAZ, THÉOPHILE	ブロンティ デュブ ラズ テオフィル	リヨン政治学院 (フランス)	1年間	史学科
CHARPENTIER, MAUD	シャルパンティエ モード	リヨン政治学院 (フランス)	1年間	国際社会科学科
SCHAETZLE, YASMIN LISA	シェツレ ヤスミン リサ	マンハイム大学 (ドイツ)	1学期間	経営学科
ARNST, MARTIN	アーンスト マー ティン	マンハイム大学 (ドイツ)	1学期間	経営学科
GARGIULO, GEMMA	ガルジューロ ジェ ンマ	国立ナポリ東洋大学 (イタリア)	1年間	日本語日本文学科
MASOTTI, MATILDE	マソッティ マティ ルデ	ポローニャ大学 (イタリア)	1学期間	国際社会科学科
FRANCOIS, CINDY	フランソワ シン ディー	アイスランド大学 (アイスランド)	1年間	日本語日本文学科

■本学からの第2期派遣学生をご紹介します！

(留学期間：平成29(2017)年10月～)

派遣先大学	所属	派遣学生
東呉大学(台湾)	法学科	松田 咲季
東呉大学(台湾)	国際社会科学科	工藤 彩香
復旦大学(台湾)	史学科	佐々木結衣
アサンプション大学(タイ)	国際社会科学科	大島悠太郎
ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ)	国際社会科学科	須原 里紗
タルトゥ大学(エストニア)	国際社会科学科	朝蔭 真由
パイロイト大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科	来海 彩芽
パイロイト大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科	大池 桃香
マンハイム大学(ドイツ)	経済学科	香内 章吾
マンハイム大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科	森野 恵実
ザルツブルク大学(オーストリア)	ドイツ語圏文化学科	箕輪 玲那
ポローニャ大学(イタリア)	法学科	嵯峨 翔子
ポローニャ大学(イタリア)	国際社会科学科	渡邊 美伶
トリノ大学(イタリア)	国際社会科学科	吉田 彩乃
リヨン政治学院(フランス)	国際社会科学科	長田 柊也
リヨン政治学院(フランス)	国際社会科学科	國井日南子
リヨン第二大学(フランス)	フランス語圏文化学科	篠原 亨奈
パリ第七大学(フランス)	フランス語圏文化学科	川邊 早紀
パリ第七大学(フランス)	フランス語圏文化学科	井口 怜紗

○平成28年(2016)年度第2期の協定留学プログラム派遣学生より

「全く知らない世界に飛び込んだらどうなるのだろうか?」。小さい頃から海外に興味があった私はずっとこのような疑問を持っていました。留学することが決まり嬉しく感じたとともに、まだこの大学に留学をした先輩方がいなかったため情報がなく不安もありました。しかし、現地に着いてみたらそんな不安はすぐになくなりました。銀行口座、住宅補助の申請など難しいことでもこちらが一生懸命思いを伝えようとすれば、リヨンの人たちは皆優しく嫌な顔をせず助けてくれます。親切で面白い友達もすぐにでき、実家に招待してもらい恋愛の話などで夜通し盛り上がったのが一番楽しかった良い思い出です。留学をしているうちに何かあっても「なんとかできる」という自信がつき、とりあえず人に話しかけて尋ねてみるのが簡単になるようになりました。皆さんも少しでも留学をしてみたいという気持ちを持っているなら、「不安を抱えたまま」で良いので、是非勇気を出して挑戦してみてください。(フランス語圏文化学科4年 中村 美香さん)



日中友好大学生訪中団 (8月26日～9月2日)

私たちは、8月27日から9月2日まで、「2017日中友好大学生訪中団」の一員として、北京と成都を訪れました。このプログラムは、日本と中国の大学生が実際に交流することで相互理解を深めることを目的としています。今年は日中国交正常化45周年ということもあり、約500名の派遣となりました。学習院大学からの派遣団10名は、昭和女子大学、中央大学、東京大学、東京外国語大学、東京女子大学、山口大学の学生の方々と行動を共にし、万里の長城や故宮博物院への参観、伝統芸能「変面」の面の作成などを行いました。8月29日には、中国の大学生500名と共に、北京大学で開催された「千人交流大会」にも参加しました。

私が訪中団へ参加したのは、大学で勉強していた中国

語を使って、現地の学生と話してみたいと思ったことがきっかけです。実際に行ってみて、たどたどしくとも中国語を話すと、とても喜んでくれたのが印象的でした。今でも、その時に知り合った子と、私は中国語で、その子は日本語を用いて、連絡を取り合っています。また、中国の学生は、日本の文化にも詳しく、大学ごとに披露した伝統的剣道形や、映画「君の名は。」のダンスなどのパフォーマンスにも、大きな拍手が沸き起こりました。

今回、中国を訪れたのは初めてでしたが、普通の旅行では出来ないような体験も多く、大変充実した7日間となりました。感じた喜びや驚きを忘れずに、今後の生活に活かしていけたらと思います。

(法学科4年 榎本 めいさん)



平成 29 年度第 2 学期以降の募集・お知らせ

■平成 29 (2017) 年度春季語学研修の実施について

海外協定校で以下の 2 つを予定しています。長期留学の準備や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか？募集時期や日程の詳細は、センターホームページ、G-Port 及び掲示で公示しています。

	研修先	募集人数	日程（渡航期間）
英語	エディンバラ大学（イギリス）	28 名	2018 年 2 月 4 日（日）～2 月 25 日（日）
中国語	淡江大学（台湾）	15 名程度	2018 年 3 月 4 日（月）～3 月 17 日（土）

■留学フェア開催のお知らせ

国際交流センターでは、年 2 回（第 1 回は 6 月中旬、第 2 回は 10 月下旬）、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談が出来るよう、「留学

フェア」を開催しています。

フェア期間中はお昼休みと 3 限の時間を利用して、留学経験者による留学相談、本学協定校からの留学生による協定校紹介、様々な言語で話す「チャットルーム」など、日替わりのプログラムを用意しています。留学に興味のある皆さんが自由に参加できる催しとなっていますのでお気軽に、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

開催情報は、当センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。過去の開催の様子も、Facebook などでご覧いただけます。



オーストラリアに留学した学生によるプレゼン



チャットルームでの留学生との交流

■平成 30 (2018) 年度

第 2 期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度 10 月中旬より、平成 30 (2018) 年度第 2 期協定留学プログラム（留学期間：2018 年 10 月～翌年 9 月 / 派遣先：アジア・ヨーロッパ・北米他）の募集を行います。募集期間は国際交流センターホームページ、G-Port、及び掲示板等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご利用ください。

■海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金・奨励金」をはじめとした、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細や募集要項等は、いずれも、センターホームページ、G-port、掲示等によりご確認ください（独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属学部の学部学科事務室にお問い合わせください）。

※①～⑤の内容はいずれも平成 29 年度の内容であり、次年度以降は変更の可能性あります。

①学習院大学海外留学奨学金（平成 29 年度分は募集終了）

応募条件	・「留学願」が承認されている者または承認されることが見込まれる者（「休学」による渡航は不可） ・成績評価係数が 2.3 以上の者 ・語学能力試験を受験して結果が出ている者
奨学金額	1 名につき 30 万円以内（給付）
採用予定数	年間 50 名程度
募集時期	年 2 回（12 月及び 6 月）

平成 30 年度に留学を開始する方を対象とした第 1 回の募集（12 月）については、募集要項を 11 月にセンターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。

②学習院大学春季語学研修奨学金

応募条件	本奨学金対象の国際交流センター主催春季語学研修に参加する者
奨学金額	1 名につき 1 万円以内（給付）
採用予定数	30 名程度
募集時期	年 1 回

③学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学に必要な語学能力試験を受験した者
奨学金額	1 名につき 1 万円以内（給付）
採用予定数	年間 50 名程度
募集時期	年 2 回（12 月及び 6 月）

④大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	国外で開催される研究会等で発表を行う大学院生（共同発表を含む）
奨学金額	1 名につき 10 万円以内（給付）
採用予定数	年間 20 名程度
募集時期	年 1 回（12 月）

⑤学習院大学海外短期語学研修奨学金（平成 29 年度分は募集終了）

応募条件	夏季休業中海外において 3 週間以上語学研修に参加する者
奨学金額	1 名につき 10 万円以内（給付）
採用予定数	年間 60 名程度
募集時期	年 1 回（9 月下旬） ※夏季休業開始前に募集要項を公示

【編集後記】

表紙上段の写真は夏季日本語研修プログラムの修了式の集合写真の様子です。この研修は海外協定校からの留学生を受け入れ、様々な文化学習プログラムの提供をする側面と併せて、留学生と本学の大学院生・学生ボランティアなどとの交流により、学内での国際交流を促す側面も担っています。今年度は 7 日間のプログラムに、受入準備を含めて、のべ 157 名のボランティアにご協力いただき、参加いただいた皆さんからは充実した機会であったとそれぞれ感想をいただきました。国際交流とは、必ずしも海外に行かなければ味わえないものではありません。国際交流センターでは今後も各種イベントを通して学内の更なる国際交流を実現してきますので、興味のある内容がありましたら、是非気軽な気持ちで参加してみてください。

【平成 29 年度国際交流センター運営委員】

所長	秋山隆彦（理学部）	運営委員	星 明男（国際社会科学部）
運営委員	磯崎典世（法学部）	〃	荒川一郎（副学長）
〃	田中勝人（経済学部）	〃	小島修一（学生センター所長）
〃	村野良子（文学部）	〃	今枝秀樹（国際交流センター課長）
〃	稲熊宜之（理学部）		

October 1, 2017 vol. 40
News letter

発行日 / 2017 年 10 月 1 日

編集・発行 / 学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

E-mail: cie-off@gakushuin.ac.jp

FB: https://www.facebook.com/cie.gakushuin.ac.jp

※掲載された学生の所属は、平成 29 年 9 月時点のものです。